

本日は、マルチリンガルスピーチコンテストに出場いただき、また、数多くの方々に最後までご参加いただき、本当にありがとうございました。

ご出場いただいた高校生、大学生のみなさん、また惜しくも一次審査をパスできなかった大学生や一般の方も含めて、まずは応募書類を見てチャレンジして下さったということに対して、大きな拍手を送りたいと思います。

数多くあるスピーチコンテストの中でも、2つの言葉でスピーチをする本大会は大変レベルの高い、難しい挑戦となります。本日私たち全員が目にした多言語世界の豊かさを、今後もっともっと、多くの人々に知っていただくよう、この大会を続けていくことが大切だと感じています。

この大会も来年は10周年を迎えます。国際文化学科長をはじめ、国際文化学科の先生方には、来年度の記念すべき大会をどのように企画し運営するべきかについて、早い時期からみなさんと相談され、素晴らしいものを世に出していられるようお願いいたします。

山口県立大学のモットーは、地域に貢献する心をもった人材を育成すること。そして、国際文化学部では、タンポポの花のように、風にのってどこへでも軽々と飛んで行き、新しい地で根付いて、そこで希望の花を咲かせ、まわりを明るく照らすことのできる人を育てています。

その身軽な動きを支える力の一つに言語能力があり、外国語の力、そして日本語や非言語を含めたコミュニケーション力があります。本日、このステージ上に上がった人も、ステージの裏で支えた人も、会場に来られた方々も、言葉の力、言葉の魅力を大いに発揮し、社会や世界を言葉の力で動かすことができるということを実行で示していただければと思います。

最後になりますが、本日のコンテストに応募して下さった方々、応募を支援して下さった諸先生方、ご支援をいただいた関係者のみなさま、また、会場にお越しいただいたすべてのみなさまに、心から御礼を申し上げます。